























































原爆ドーム  
昭和20年8月9日、地上は約900メートルの高さから投下された原子爆弾の爆風で、この建物の大部分が約400メートルの高さまで壊滅した。その1個の爆弾によって20万人を超える人々の生命が失われ、半壊の瓦礫は約20万トンに達した。この悲惨な出来事を後世に伝えるため、この建物の残骸を保存し、平和の象徴として残すことになった。この建物の平和を願う人々の願いによって、この建物を保存することになった。これを永久に保存する。——  
昭和42年8月9日 広島市



































































































































